

会議録

会議の名称	第2回 加東市環境市民会議
開催日時	令和2年2月13日(木) 午後7時から午後9時まで
開催場所	加東市役所3階301、302会議室
<p>議長の氏名 竹村厚司</p> <p>出席委員の氏名</p> <p>【1班】 臼井純男 藤本真佐己 片山剛志 井上綾乃 小藪準也</p> <p>【2班】 竹村厚司 黒崎昇 森美佳 丸山健次 柳隆之 衣笠比佐志</p> <p>【3班】 今川哲郎 植田竹吉 戸田恵造 笠井郁男 藤井悦雄 丸山正人</p> <p>欠席委員の氏名</p> <p>芦谷恒憲 井上益子 出井和典 藤井哲夫 余部衛 中嶋研二</p>	
説明のため出席した者の職氏名	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>市民協働部生活環境課 課長 眞海秀成 同副課長 藤原義守</p> <p>市民協働部生活環境課資源循環係 係長 丸山耕市</p> <p>市民協働部生活環境課環境政策係 主査 今岡良介</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 開会</p> <p>2 コンサルタント紹介</p> <p>3 第1回加東市環境市民会議の振り返り</p> <p>4 協議事項(ワークショップ)</p> <p>事務局から資料に基づきアンケート結果等を説明。加東市の課題を抽出するため、3班に分かれて、5分野毎(廃棄物分野、地球環境分野、自然環境分野、生活環境分野、協働・環境学習分野)に、ワークショップを行いました。その後、班毎に発表を行いました。</p> <p>【1班】</p> <p>分野ごとに説明があった後、具体的にいい点、それから課題のある点等々を出していったんですけど、やっぱり課題のある点が圧倒的に多くて。廃棄物のところは、不法投棄がやはり多いというような御意見が出ておりました。カメラを設置してはいるんですけども、ダミーのカメラが多く、それがダミーのカメラということがばれてしまっているという話がありました。今後そういったお金のかかるようなことは、協働といいますか、地域の事業者の方にも御協力いただいて、少しでも費用を出していただき、寄附を募るといようなことも解決になるのではないかとというような御意見をいただいております。</p> <p>それから、耕作放棄地ですね。自然環境の分野で特に目立つものは、耕作放棄それから有害鳥獣の関係ですね。やはり耕作放棄地が増加しているのは目に見える問題という</p>	

ことを御意見としていただきました。自然の豊かさなどについては、目に見える形では、大きな変化はないのではないかというような御意見でした。

特に問題のというのは、いわゆる耕作放棄と有害鳥獣ですね、自然環境のところ。川とか池とかは昔から変わっていませんので、それでもアンケートで非常に満足度が低くなっているというのは、これは答えた人の意識が10年前より高くなってきているから、同じ条件でも厳しい目で見てしまうというのが出ているのではないかなというように思います。

それと、あとは生活環境につきましては、空き家の対策ですね。

公共交通は、地域によって、電車、バス、これの利用ができにくいところが非常に困っている。今後高齢化が進むと、対策が非常に必要になってくるのではないかなということが、将来における課題というふうになってございます。

地球環境のところ、温暖化についての今後どうしていくかというような御意見をいただいています、これからどうなっていくかということですね。温暖化は、非常に規模が大きいというか、いきなりどうしようということが一番できにくいような地球規模のことですので。だから、何が必要なかということは、もう少し学習的なものもやってみないといけないのではないかなと、そういう意見が出ております。取りとめない意見で申しわけなかったのですが、以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

〔拍手〕

【2班】

まず、廃棄物の問題ですけど、ごみを拾う、地域をきれいにしたいという意識行動を促す仕組みをつくってはいかがでしょうかというのがありました。もう一つは、家にあるものを、使用しないものをリストアップして、研修生の方々に使っていただければどうでしょうかという案もありました。千鳥川の桜堤のところ、ごみ拾いをされる方がいらっしやいまして、一回人糞が落ちておったのをきれいに、普通の人だったらできないようなこともやっておられました。それを私見ました。その廃棄物等を捨てる方等に対して、ペナルティーをつくってはいかがでしょうかという案もございました。課題としまして、コンビニ弁当などポイ捨てのごみがひどいところもあります。少子化により、学校のリサイクルが十分機能していないんじゃないかという意見もございました。

次になります、地球環境の件ですが、市役所等も不用品の回収、リサイクルなども協力されてはいかがでしょうかという案もございました。

次に、電磁波や紫外線による影響問題が何かわかりにくいという意見がありました。太陽光パネルの廃棄問題、これが今からの課題ではないでしょうかという意見もあります。うちエコ診断はもっと広めていただきたいなという意見もございました。

それから、自然環境ですが、高校生による地産地消の取り組みがあるということをお知らせがありました。放棄田を貸し出すのをもう少し多く一般の方に貸し出して、要は放棄地をできるだけなくすような方向は目指せないかなという意見もございました。昔と比べて河川が濁っている。これは実感として、千鳥川とか三草川、最近は汚濁度が上がってきて、何が原因なのかちょっとわからないんですけど、河川工事はやってないと思うんですけど、何かどんよりしてきております。猟師の高齢化で、猟師の方が少なくなってしまうと、イノシシや鹿の駆除、これができなくなって、この近くまでイノシシが出てきておりますので、それが自然環境を破壊しているんじゃないかという意見もございました。農家の高齢化による耕作放棄地の拡大、これは現実問題としてかなりのスピードで進行しております。私も農業をやっていますので、実感として感じております。

次は、生活環境ですが、私の地域では地域の活性化を進めていくために、要は、人と人とは触れ合うことによって活性化したり、健康寿命を延ばしていこうかというような趣旨で、ちょっと頑張っております。

また、コミュニティーバスの充実。ちょっと遠く離れ、年がいきますと、買い物にもバスは通ってないし、車もよう運転できないという方が増えてきておまして。こ

これは、我々の地域のほうでもそういうコミュニティーバスという問題が出ておりました、これをちょっと生活環境の問題として、コミュニティーバスの充実を上げました。人の集まれる場所づくり、今ほとんどの方が自分もしくは連れ合いとかで、要は隣近所でのつき合いがないから、できるだけ多くの方が集まれるような場所づくりというのも上げております。地域の交流の場を増やす、これも同じです。空き家問題が今後深刻になると思います。あと、短い距離でも車で移動を現状はやっております。駅までの距離以外の利便性が低いということで、本数など限られておりますし、ごく一部の方しか利用できないような状況かなと思っております。

協働環境学習ですが、ごみよけの鳥居なんか置かれると、ごみを捨てにくい気持ち的になっていいんじゃないかという意見がございました。それから、クリーンキャンペーンではみんなごみ拾いをするが、ふだんごみを見かけて拾う人は少ないですという意見もございました。ですから、クリーンキャンペーンのときは、みんな一生懸命やるんですけど、ふだん落ちているごみを拾わないよということでございます。イベントをしても人が集まらない。関係者や役員しかおらず、来ていただきたい方が来ないと。ですから、来ていただきたい方に何とかして来ていただきたいような、集まっていたきたい、これも課題の一つかなということで上げました。以上で報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

〔拍手〕

【3班】

まず、廃棄物ですけども、良いところとして、ある地区では輪番制でマナーを守られており、チェックして啓発されています。それと、廃棄物、ごみステーションの中であった吸い殻のポイ捨てが非常に少なくなったと、そういう印象が持たれています。課題ですけども、ごみ出しのマナー違反があるようなんですけども、個人情報の問題で特定できないというので、非常にマナーの違反を指摘しにくいという部分があります。それはもう本当に、ごみは出してるけども分別ができてない。日を間違えて出してる。これは、もう少し啓発してもらって、意識を深く持ってもらわないと解決できないかなと思っております。それと、回収ボックス、廃油の回収ですけど、これが一応公民館とかあるようですけど、まだ周知できてない。認識されてない方がまだ多々あるようですので、再度その辺の啓発をしていただきたいというのが課題になっていました。目指すこと、廃棄物、先ほども出ていましたけども、鳥居マークをつける、これは非常に効果があるんじゃないかと、もう少し啓発をやってもらえばいいかなと。ごみを捨てるのが悪いこと、罪の意識があるんですけども、もう少しその辺が本当に悪いかどうか、もっと意識を強く持ってもらわないとできない。逆もある。ごみを出さないことは周りを助けているんだと、周辺を助けていることを満足してもらえそうな仕組みづくり。出さないことは皆さんにも役に立っているんだという意識づくりをしてほしいということで、そういう仕組みづくりができればいいかなと。

生活になりますけども、課題、特に話が盛り上がりましたのは、交通手段がない、ないと言いませんけども、余りにも地域差があり過ぎて、特に話が出たのは東条地区が非常に、神姫バスは何便しかない。高速バスはありますけども、市役所なり市の中心に出る足がほとんど確保できてない。これについて、市はタクシー券を出していますけども、金額が知れています。特に、東条地区から社へ行こうと思ったら、タクシー券ってもう使い切れません。走り切れません。全部不足です。だから、そういうタクシー券にかわるもの、やっぱり公共交通なりのバスの手段を確保してほしいと。あるバスに対しての補助制度ですね。タクシー券じゃなしに、バスに割安で乗れるような補助を出してもらえればありがたいなというところと、公共交通、今自主運行バスが出ていますけども、もっと広範囲で、加東市民病院じゃなしに、もう少し内容によっては北播磨総合医療センターに行く手段がないと。その方法も確保してほしい。方向としては、病院からそんなバスは出してもらえないでしょうから。そういう方法を考えてほしい。広域連合があるので、もっと広い範囲で、加東市に限らず、小野市、三木市を含んで、病院ま

で行こうと思えばそういうような方法をつくってほしいなという意見が出ました。課題です。やっぱり公共交通、自主運行バス、その意見がいっぱい出ました。

他には、全てに無関心です。今すぐ必要ではない、今は何とか手段がある、確保できているので、今すぐ必要じゃないんじゃないかと、そういう意味では無関心。これが何年先、5年、10年先のことを見越した方法を考えてもらわないと、全然そういうような手段が確保できないんじゃないかと。もう少し関心を持ちましょうと。もう明日、あさってのことを考えて、それぐらい近い将来の、近いうちの問題になってきますよということで、関心を持ってほしいということでした。

地球環境について、エコ商品は世に色々出ていますけども、今現在価格が高いです。LEDに関して、余りにもまだ価格が高いですから普及が難しい。もう一つ出たのが、太陽光パネル。非常に今広く設置されていますけども、これが5年、10年先、廃棄に変わってきます。その方策が確保できていないんじゃないかと。これが次の問題になってくるんじゃないかという意見が出ました。

あとは、よいところですね。今まで照明を消す、冷蔵庫を閉める。これは、私らが小さいころは電気代がかかるから電気を消しよ、無駄な冷暖房をとめようという意見があったんですけど、それはひいては環境問題につながっているんであると。電気を消すということが、環境意識を持つことになるんだなと、そういうふうにだんだん意識が、単純に費用云々の考えじゃなしに、環境につながっているんだというように意識が変わってきています。そういう意見が出ました。省エネ施設は、もう格段に性能が上がってきている。今言いましたように、照明施設、機器、設備が普及しましたが、性能の内容は格段に、5年、10年前から性能がよくなっているという意味で、環境のほうに貢献できているんじゃないかという意見が出ました。また、これもやっぱり無関心ですねと。地球環境、余りにも身近ではない。温暖化の話が出ましたけども、やっぱり無関心ですと。

自然環境に関してですけども、今話をしましたが、温暖化。農業の作物も非常に影響が出ています。特に、加東市は山田錦が有名ですけども、これに対してもやっぱり栽培、品質低下が温暖化によって栽培方法が難しくなっている、品質低下につながっていますということでした。後継者問題、これが一番大きな問題でして、高齢化でやっぱり離農化が増えてきます。そうなる、やっぱり耕作放棄地が広がっていくということなので、これが一番大きな問題じゃないかな。確保するのも、営農組合とか組織をつくって協力していかないと、難しい問題がつながってくるということでした。それも結局、今は自分ができている。だから、余り考えてないけども、さっきも言いましたけど、もう5年、10年先誰がやっていくんだと。そういう意味では全く意識がない、無関心じゃないかということでした。

協働・環境学習の話になるんですけども、地区を挙げて環境学習会をやる機会をしましょうと。地域差があるようです。ある地区では、小学生を含めて環境問題学習をやっていますけども、これをもう少し市内に広げて、もう少し学校単位で、市民と一緒にそういう機会、学習会をやってほしいなと。ごみを拾うよりもごみを出さない教育をしましょう。そういう方法を教育してもらえば、ごみが減っていくという話が出ました。私もそうでしたが、環境問題云々と言われても、びんどこないんですよ。それだけやっぱり関心が少ない。いざ自分に降りかからないとわからないので、余りにも無関心が多いんじゃないかなと。そういう意見が出ました。

他の4つの分野は、大体がもう協働・環境学習分野にかかわってくるんじゃないかなと。そういう意見でまとまりました。

あと、出た意見で、全ての項目において、皆さんやっぱり、みんな無関心だなという声がありました。無関心が、結局この最終いろんな項目がありますけれども、解決していくのは一人ひとり、皆さんいろんな主体が一緒になってやっていかないと、なかなか解決に導かれない。じゃあ、それをしていくために何が問題かという、やっぱり無関心だなというところが意見として出ていました。結局、全てが協働、何するにしてもま

ずは知ることから。じゃあ、知るのはどうするの、一人で調べるのじゃなくて、企業であつたり学校であつたり、いろんなところでみんなが1つになって、目標を達成するために動いていかなきゃならないなという意見が出ていました。

〔拍手〕

委員長 皆さん、どうもありがとうございます。本日のワークショップの意見や声は計画策定に反映させていただきたいというふうに思います。ほかに何か、最後にこれだけはどういう御意見はございますでしょうか。

委員 アンケートから集計結果を出していったと思うんですけど、設問がもう既に10年前で、ずれている内容というのも結構あると思うんです。例えば、小学生とかが、空気のきれいさって、気づいているのかなというのが正直、まちの人が加東市に来て、ああ、空気がきれいだとか言うならばわかると思うんですけど、10年後、こんなに大きく変わっていて言えるのかなという、ちょっと何か今と合致しないところも出てくると思うので。前回、1回目の話でもアンケートをもう一回という話もさせてもらったと思うんですけど、これは比較対象にもするので、計画の中で、次の10年を見据えて、このタイミングで何かある程度改定した内容で、もう少し時代に合致したアンケートを、我々環境市民会議で議論しておけば、そのアンケートは次の10年に生かせるような内容になると思うので、もう一回アンケートのあり方というのと、市民会議の流れの中でつくって出すというのもまた御検討いただければなと思っています。以上です。

委員長 アンケートが、やっぱり実際参考になるところまでならないというところも多いということですね。一応、また10年後を見据えれば、ある程度同じ継続した内容で聞く必要もあると思います。要するに、その答えはどういうふうに変わってきたかというところもありますし、また見直していったほうが良い項目もあると思います。

委員 そうですね。だから、これはこれで、10年後はまた捉えていいと思うんですけど、変えた内容で、10年後と今現在と、2020年のときと30年のときの比較をしてみるのであって、これだと2010年と30年の比較になってしまう。大分時代が違うというか、ファミコンとニンテンドウスイッチぐらいの進化があると、またちょっと変わってくるのかなと思います。

委員長 わかりました。また今後の活動に、それをまたいろいろ考えていきたいとします。ほかの方、いかがですか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようでしたら、これで協議のほうは終了します。

以上